

条例案 10 件、単行案 1 件、補正予算案 4 件、当初予算案 10 件、陳情 1 件を審査しました。

公文書館の使用年数は

【問】公文書館は、現在の旧双葉小学校を使用していくことになるが、施設の状況からも、この先、何十年続けられるのか。

【答】建物の耐用年数と収蔵能力を考えた場合、おおよそ 30 年以上は使用できると考えている。

固定資産税率引き下げを

【問】水田の基盤整備率が高く、転作等で大豆や枝豆が作られている。水田としてよりも畑として使っている現状から、固定資産税率を畑地並みに引き下げできないか。

【答】基盤整備は水田の区画拡大等の整備を行い、ほ場整備されたものであり、固定資産評価基準からも水田となり、畑地として評価できない。

消防本部の床面積増の理由は

【問】広域消防本部の改築は、現在の建物床面積の約 2.5 倍となっているが。

【答】はしご車・大型化学車・救急工作車等、車両の大型化に加え、消防車両が昭和 57 年には 12 台、現在は 17 台。消防職員も 59 人で発足したが、現在は 84 人の 25 人増となっている。執務環境を整える上で仮眠室も個室化を図り、訓練棟も含め、建物床面積 4500 m²が予定されている。

墓園整備の発注は

【問】大曲墓園の整地、区画の工事、墓石を一括といった競争入札を検討しているが、整地、区画の工事と上物となる墓石の工事を分けて発注できないか。

【答】28 年度は 48 区画の墓石、石付の規制区画を検討していたが、上物の墓石については自由に選んでいただけるよう、予算の範囲内で検討したい。

高校生の医療費無料化を

【問】中学生の医療費無料化に向け、平成 27 年 8 月診療分より実施してきたが、今後は高校 3 年生まで医療費無料化を検討していただきたい。

【答】大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案にも掲げているが、財政状況を踏まえ、中学生までの医療費無料化を確実に継続していきたい。